

# 緑が丘の台地にて

甲斐市立双葉中学校  
学校だより 第 7号  
平成28年 9月12日  
発行 長田 靖

## 調べてみました…誠樹祭

誠樹祭の週を迎えました。今日から体育部門の朝練習が始まり、校内のあちらこちらで取組に励む生徒達の姿が見られ、元気な声が聞こえてきました。いよいよ4日後は本番です。

さて、何気なく、当たり前のように私たちは「誠樹祭」と言いますが、今年で53回目となる双葉中の学園祭は、いつから「誠樹祭」と呼ばれるようになったのでしょうか…!?

本校の卒業生であるA柳先生に聞くと、「私の中学時代は‘学園祭’と言っていましたよ。つまり▽▲年前には、まだ名付けられていなかったこととなります。

校長室には、各年度の卒業アルバムが揃っています。A柳先生の言葉をたよりに、卒業アルバムを辿っていくと…、**ありました!**「誠樹祭」という表記がされた学園祭の写真が載っている最初のアルバムは平成7年のもので、この年が32回目の学園祭でした。

では、なぜこの年に「誠樹祭」と名付けることになったのか、どういう経過で名前が決まったのかをさらに調べてみると、こんなことがわかったのです。

### ※当時の会議資料より（抜粋）

#### 1 学園祭の名称決定について

生徒会本部役員の中から、学園祭に名称をつけて、今までの伝統の上に新たな歴史を築いていきたいという意見が出た。職員会議で検討し、生徒の意見を尊重することが決定した。

#### 2 名称決定まで

第1回生徒総会（4月）で全校生徒に提案、名称を募集したところ、77点が集まった。

代議員会・中央委員会で、響きや文字から受けるイメージ、言いやすさ等をもとに候補を絞り、「誠樹祭」と「双輝祭」の2点が最終選考に残った。

職員会議での検討・了承を経て、第2回生徒総会（7月）において応募者による命名の理由や意味の説明を聞き、全校生徒の多数決で「誠樹祭」が選ばれた。これにより、平成7年度双葉中学校学園祭は、「第32回 誠樹祭」として開催された。

#### 3 「誠樹祭」に込めた願い

校訓『至誠』から、全校生徒が一丸となって真心のこもった学園祭にしたい。また、学校のある緑ヶ丘の木々にちなんで、樹木が一年ごと年輪を重ねて大きく太くなるように、双葉中学校の良い伝統を受け継ぎ、その上に新たな伝統を重ね、少しずつ発展していきたい。

当時の生徒達の思いや願い、そして先生方の支援の気持ちが伝わってきますね。これも‘チーム双中’のひとつのかたちだと思います。

その年のプログラムによると、内容は右の通り。テーマは『進め！僕らに光が見えるまで』。体育大会（部門）の種目もムカデや綱引きの他に、「クラス対抗100mハードル」や「部活動対抗リレー」、「フォークダンス」などがあり、今とかなり違う印象を受けます。ちなみに、A沢先生がこの学園祭を生徒として体験したようです。

### ★第1日 9月16日（土）

#### 開祭式

##### 【文化部門】

- ・意見発表
- ・自由研究発表
- ・1学年演劇
- ・展示見学

##### 【体育大会】

### ★第2日 9月17日（日）

##### 【文化部門】

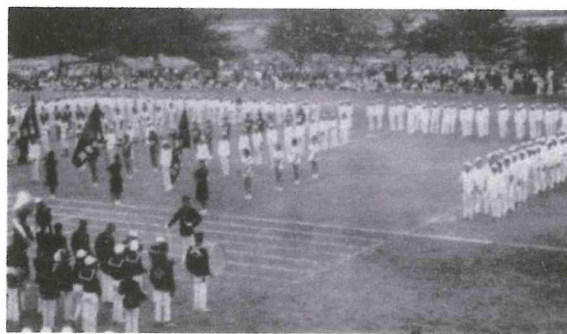
- ・合唱コンクール
- ・2学年演劇
- ・職員発表
- ・吹奏楽部発表
- ・3学年演劇
- ・全校合唱

#### <バザー> [後夜祭]

※学園祭の懐かしいスタッフ…



↑昭和42年（第4回）当時の先生方



↑昭和44年（第6回）の行進



↑昭和56年（第18回）の騎馬リレー



↑昭和48年（第10回）の演劇出演者



↑昭和61年（第23回）の体育大会



↑昭和53年（第15回）の仮装行列



↑昭和63年（第25回）の全校合唱



←平成7年（第32回）後夜祭でのフォークダンス…この年から「誠樹祭」となる

※ここに掲載した写真は、学校HPの「学校のひろば」で公開中！